



市内に広がる「まちの駅」を 起点にした地域活性化

企業との協働 まちおこし



NPO
法人

まちの駅
ネットワーク本庄
(本庄市)

企業

本庄商工会議所
(本庄市)

NPO法人は、本庄市内に52か所ある「まちの駅」の運営者の団体。「まちの駅」とは、商店や企業、個人などが休憩場所や地域情報を提供するところ。NPO法人は「まちの駅」の活動を中心に商工会議所も町の活性化に取り組んでいる。観光マップの作成や通りに名前をつける社会実験、障がい者向けトイレ・AED設置・道路の段差等を案内したお役立ちマップの作成、本庄駅構内での子どもたちの絵画コンテストなど、地域を盛り上げる活動を行っている。

協働のきっかけ

「まちの駅」との関わりを持った現在のNPO法人の代表理事が、本庄でも取り組めないか商工会議所に相談。商工会議所が観光協会や市に声をかけ、「まちの駅」設立のためのプロジェクトが立ち上がった。

活動を始めて3年後、2010年に「まちの駅」の運営者が集まってNPO法人を設立してからは、地域活性化のためにNPO法人と商工会議所が協働して活動を続けている。

キーワード

まちの駅 観光振興

協働のメリット

NPO
法人

当初は商工会議所と市からのバックアップがあり「まちの駅」を実現することができた。

また「まちの駅」の運営者は商店経営者が多く、日中の営業時間には問い合わせなどに対応できないことも多いので、イベントを行う際などの問い合わせには商工会議所が代わりに対応してくれ助かっている。

企業

52箇所の「まちの駅」は観光協会の支所的な役割を果たしており、まちの活性化につながっている。

また、NPO法人は地域の見守り活動もしているため、社会福祉の面でも貢献してくれている。

様々な場面で、魅力的なまちづくりを実現させるための活動が共にできている。



地域づくり総務大臣賞受賞

苦労・工夫したこと

NPO
法人

NPOの中に設けている4つの委員会には商工会議所の職員も参加し、駅長会議に加わったり、情報を共有できるようにしている。

企業

商工会議所自体が「まちの駅」の仲間として登録し、経営指導員が「駅長」として会議に参加し、協働を進めらるようになっている。

全国のまちの駅には行政指導型のところが多数あるが、本庄のまちの駅では、商工会議所との協働により、民間主導型をめざしている。